

概要版

池袋駅コア整備方針

2024

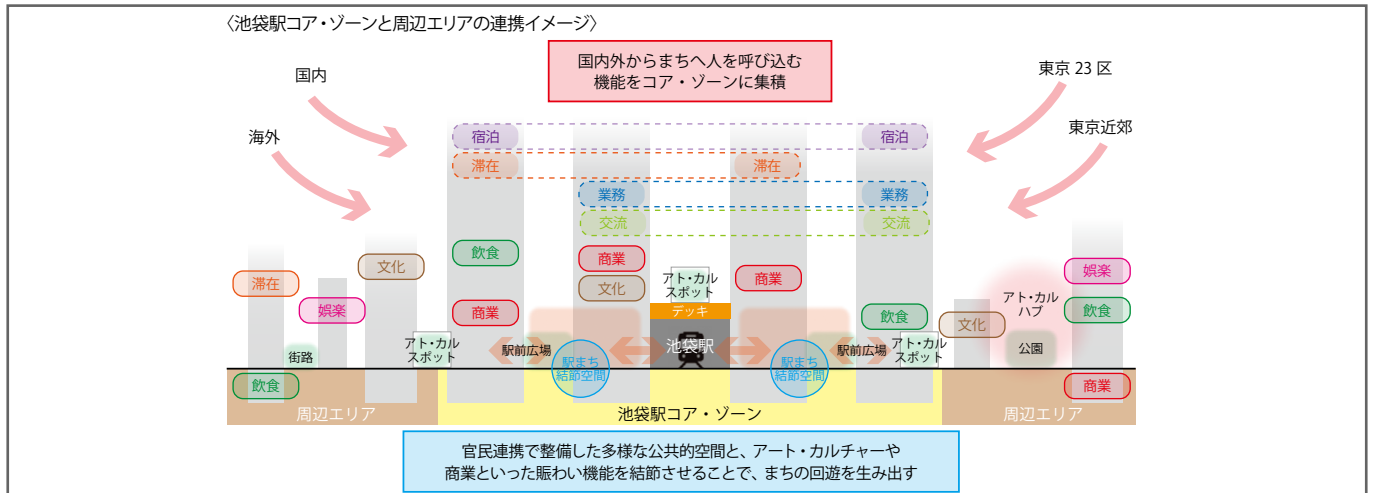


令和6(2024)年2月



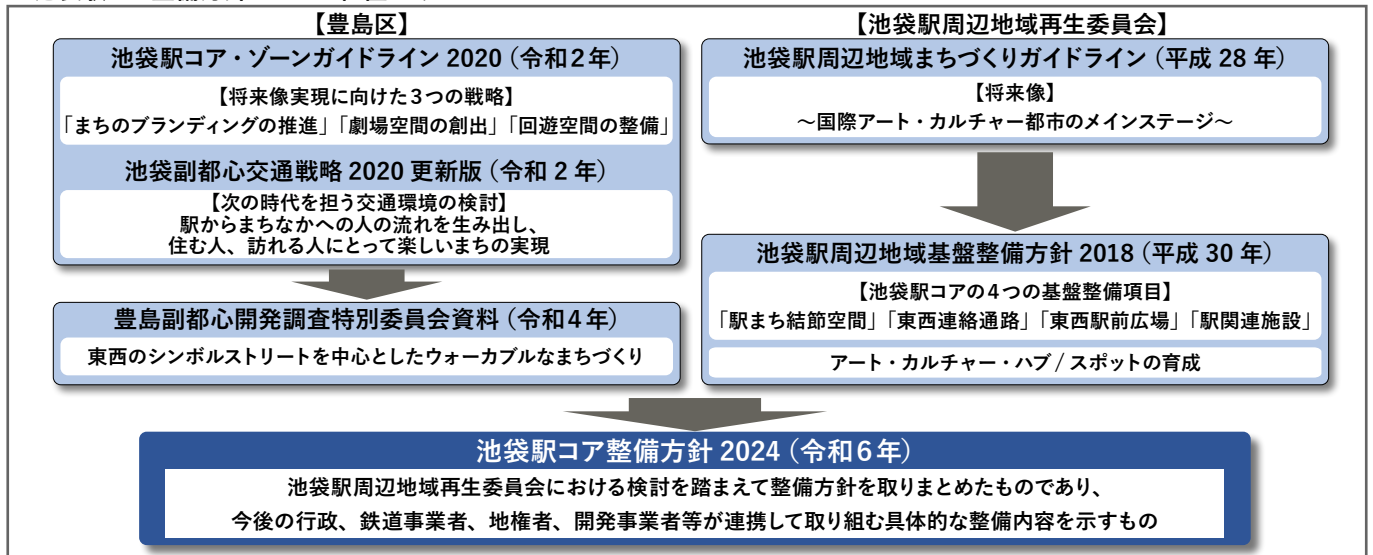
池袋駅コア整備方針 2024 の目的

「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」において、池袋駅周辺地域のまちづくりの将来像を「国際アート・カルチャー都市のメインステージ」と定めており、この実現に向けては「池袋駅周辺地域基盤整備方針 2018」に示した「池袋駅コア」ならびに池袋駅周辺の都市開発において、一体的に整備すべき都市機能及び4つの整備項目（駅まち結節空間・東西連絡通路・東西駅前広場・駅関連施設）を具体化するため「池袋駅コア整備方針 2024」を策定する。



出典：池袋駅コア・ゾーンガイドライン 2020

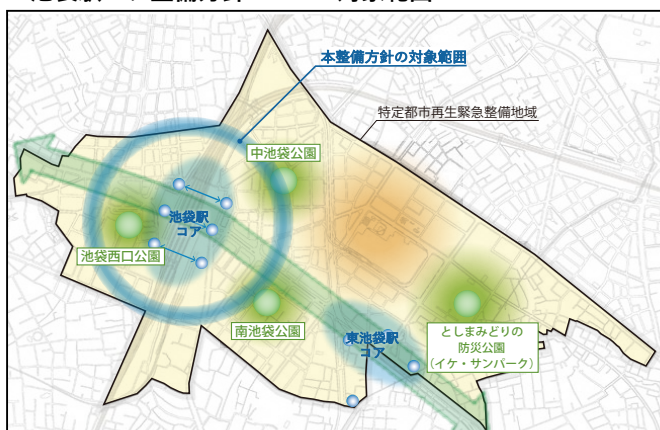
■池袋駅コア整備方針 2024 の位置づけ



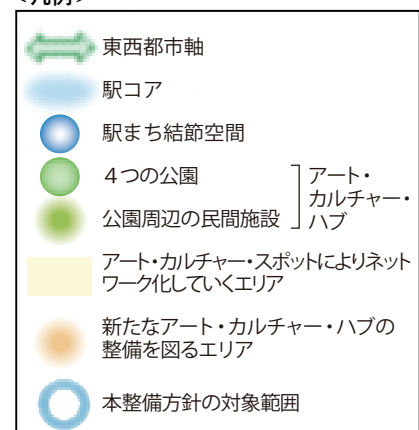
池袋駅コア整備方針 2024 の目標年次と対象範囲

「池袋駅周辺地域まちづくりガイドライン」で示している目標年次は 2035 年に対し、現在のまちづくりの動向を踏まえ、本整備方針では、2040 年代のまちの姿を想定する。また「池袋駅周辺地域基盤整備方針 2018」に示した「池袋駅コア」を含む以下のエリアを本整備方針の対象範囲とする。

■池袋駅コア整備方針 2024 の対象範囲



<凡例>



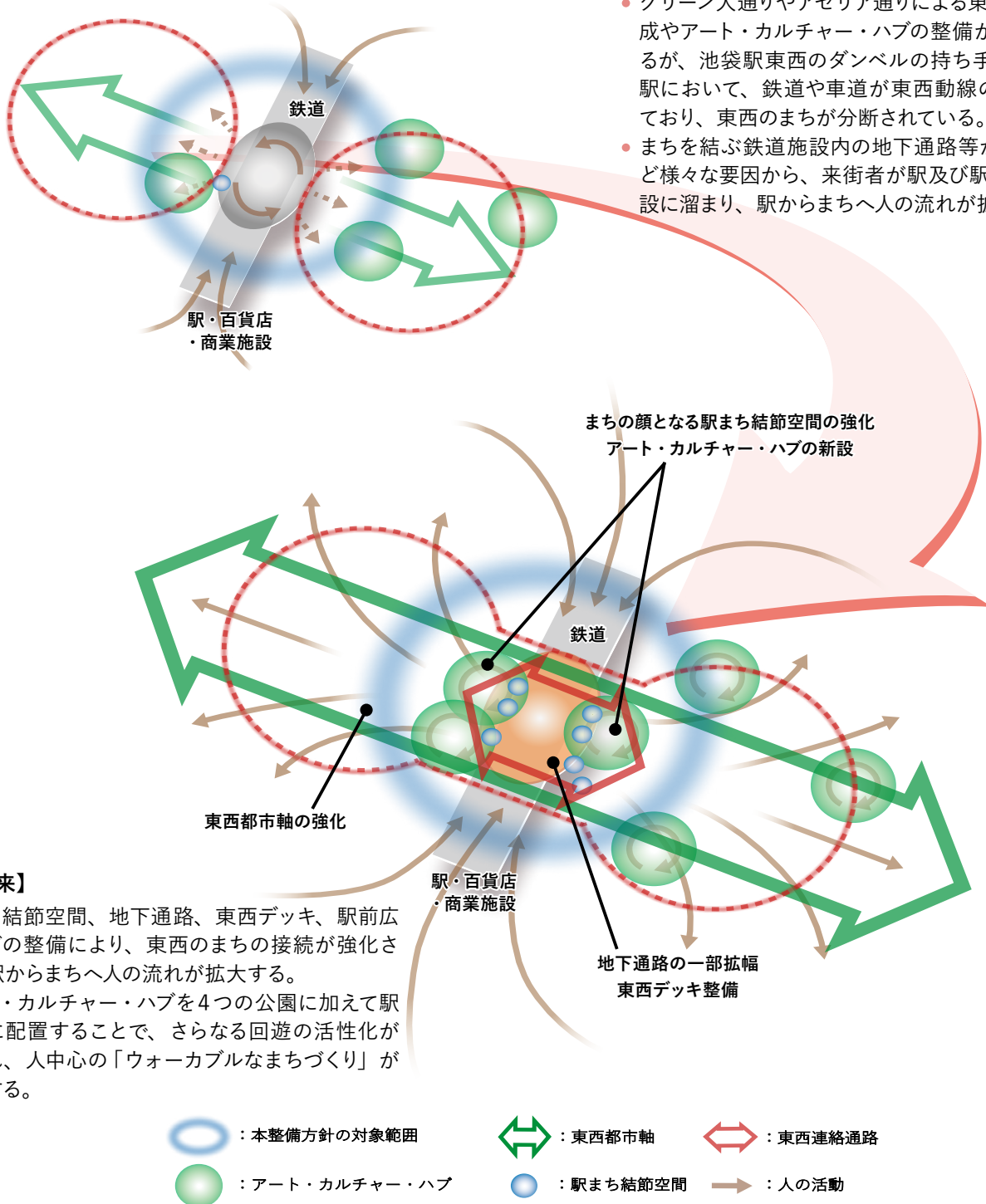
ウォーカブルなまち・池袋に生まれ変わる「脱・駅袋」の実践

アート・カルチャーの魅力や都市機能の集積、情報発信により国内外から人を集め、
駅東西の往来の促進やまちに人を送り出すための基盤整備と居心地の良い空間づくり、
安心して暮らせる環境整備を同時に行うことにより「駅袋」からの脱却を図る

▼ まちの発展イメージ（ダンベル型のまちづくりの実現に向けて）

【現状】

- グリーン大通りやアゼリア通りによる東西都市軸の形成やアート・カルチャー・ハブの整備が進められているが、池袋駅東西のダンベルの持ち手部分にあたる駅において、鉄道や車道が東西動線のバリアとなっており、東西のまちが分断されている。
- まちを結ぶ鉄道施設内の地下通路等が歩きにくいなど様々な要因から、来街者が駅及び駅直近の商業施設に溜まり、駅からまちへ人の流れが拡大しない。



【将来】

- 駅まち結節空間、地下通路、東西デッキ、駅前広場などの整備により、東西のまちの接続が強化され、駅からまちへ人の流れが拡大する。
- アート・カルチャー・ハブを4つの公園に加えて駅東西に配置することで、さらなる回遊の活性化が図られ、人中心の「ウォーカブルなまちづくり」が実現する。

※将来像の実現に向けて、回遊性の活性化を図ることを目的として、
アート・カルチャー・ハブを補完するものとしてアート・カルチャー・スポットも配置する。
※池袋駅東口エリアについては、今後開発の機会をとらえて本整備方針を更新していくこととする。

「脱・駅袋」を実践するための要素と方針

方針① アート・カルチャーの魅力で人を集める

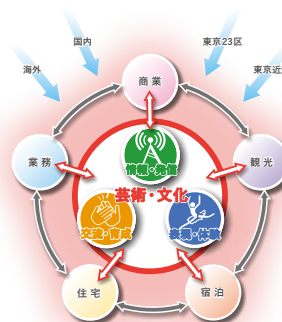
取組1

多様な都市機能の集積と連携を図り、拠点性を高める

(1) 多様な都市機能の集積と連携

- 国内外の多様な人材・企業を呼びこみ、芸術・文化活動が「観光」、「商業」、「業務」、「住宅」、「宿泊」などの機能と連携することで、「国際アート・カルチャー都市のメインステージ」の実現を推進する。

<国際アート・カルチャー都市のメインステージ実現イメージ>



(2) アート・カルチャー・ハブ/スポットの育成

① 駅を基点とした新たなアート・カルチャー・ハブの形成

- 池袋駅東西の駅前広場においては、周辺地域の情報発信と誘導を図ることで、池袋の拠点性と駅からまちへの回遊性を高める。

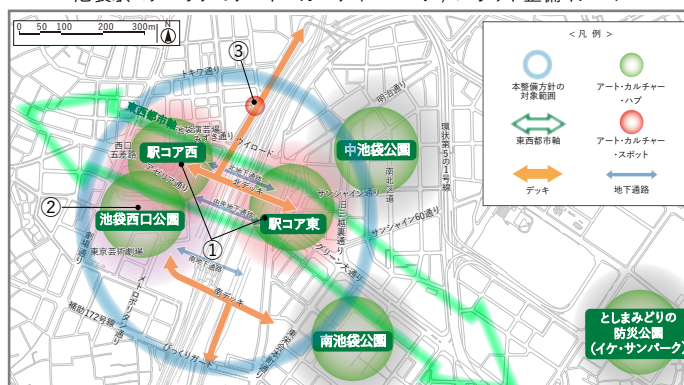
② 既存のアート・カルチャー・ハブの機能強化・拡大

- 池袋西口公園周辺においては、駅からグローバルリングや東京芸術劇場へ続く空間に視線の抜けを確保した大屋根広場を設け、ハイカルチャーな体験ができる劇場空間を整備する。

③ 新たなアート・カルチャー・スポットの形成

- 東武東上線池袋駅の改良に併せて線路上空を活用し、滞留・誘導・交流機能を備えた快適な広場空間を形成する。

<池袋駅コアエリアのアート・カルチャー・ハブ/スポット整備イメージ>



取組2

持続可能なアート・カルチャー活動の展開

(1) まちなかのアート・カルチャーの体験・交流を促進

- 池袋駅周辺に観光等に関する情報発信施設やまちなかでアート・カルチャーを体験できる交流施設を整備し、飲食施設等と連携することでアフター・ザ・シアターなどの機会を創出する。

(2) 誰もが活躍できるアート・カルチャー環境を充実

- 国内外のアーティストを受け入れる活動の場を整備するとともに、アーティスト等の育成・制作の場となる育成支援施設の整備を誘導するほか、企業のマッチングにより、誰もが活躍できるアート・カルチャー環境を充実させる。

<アート・カルチャー活動拠点イメージ>



(3) 多様な活動と連携した池袋ならではのコンテンツを提供

- ふくろ祭りや池袋ハロウィンコスプレフェスなど、地域に根付いたアート・カルチャー関連組織や多様な活動と連携し、融合した新たなコンテンツを提供する。

方針② 駅からまちへ人を広げ、まちの東西の回遊性を向上する

取組 3

駅とまちが一体となった都市空間の創出

(1) 新たな玄関口となる駅まち結節空間の構築

- デッキ・地上・地下をつなげ、バリアフリーに配慮した縦動線や分かりやすい出入口を整備し、まちへの回遊性を高める駅まち結節空間を整備する。

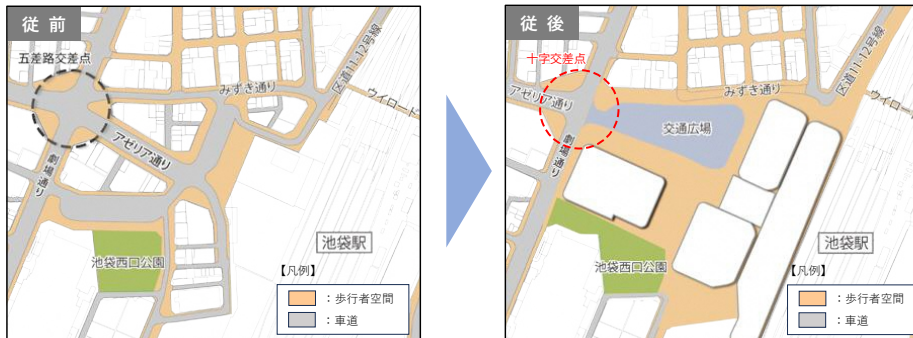
<駅まち結節空間（西口）のアトリウムイメージ>



(2) 駅と周辺地域・まちの東西をつなげる歩行者ネットワーク、滞留空間の整備

- 駅上空に新たに東西デッキを整備することで、駅東西の連絡機能を強化し、地下通路の一部混雑緩和を図る。
- 地下通路の一部拡幅や地下ネットワークの充実により、歩行者が交錯している現状を改善する。
- 多くの来街者を受け止める滞留空間や安全で快適な歩行者空間を整備するため、駅前の広場空間を拡大する。

<西口歩行者空間の拡大イメージ>



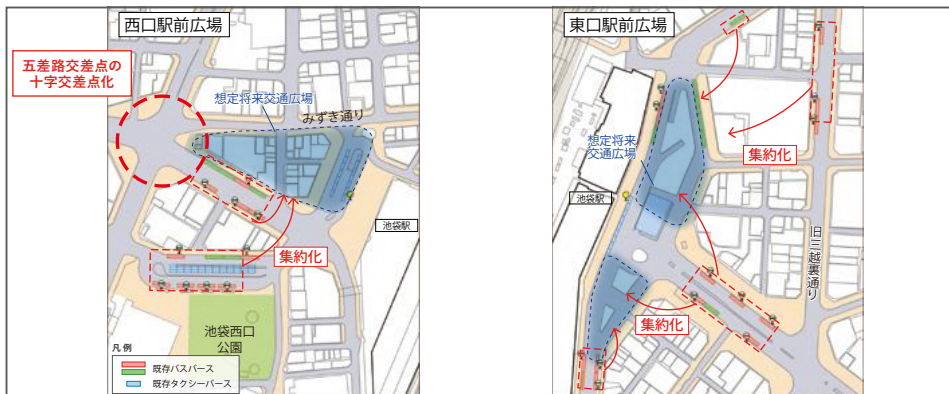
取組 4

他地域とのアクセス性を高める交通結節機能の強化

(1) 交通結節機能を高める交通施設の再編

- 分散している駅前交通施設の再編を行い、歩行者空間を拡大し歩きやすくするとともに、バスやタクシー等の乗降場の集約化を行い、利用しやすい駅前広場を整備する。

<駅前広場再編イメージ>



(2) 誰もが安全で円滑に移動できる道路空間等の再整備

- 周辺建物との駐車場の地下ネットワーク化や集約化により、利便性の向上や周辺交通への負担軽減を図る。
- 移動制約者等への配慮や荷さばき機能の導入、自動二輪車等の多様なニーズへの対応などによって、誰もが利用しやすい駐車場を駅至近に整備する。

「脱・駅袋」を実践するための要素と方針

方針③ みどりで回遊・滞在の質を高める

取組5 歩きながら潤いを感じられる質の高いみどりの整備

(1) 東西都市軸などの地上部を中心としたみどりの配置

- 東西都市軸や駅前広場などの地上部を中心に駅の東西をみどりで結ぶ。

(2) 公園周辺の空間の緑化

- 池袋西口公園周辺では、四季の彩りの中で憩える緑豊かな空間を形成する。

(3) 駅まち結節空間と東西デッキの緑化

- 国内外の来街者を迎え入れるターミナルとして、潤いのある美しいみどりを駅まち結節空間と東西デッキに整備する。



取組6 地域の人々に愛され親しまれるみどりを育てる

(1) 特色あるみどりと憩いの場の創出

- 駅周辺にみどりの作品を展示するなど、特色あるみどりと憩いの場を創出する。

(2) みどりの多様な機能を活用したグリーンインフラの推進

- アート・カルチャー・ハブ/スポットにおいて、多様な生物が生息・生育するみどりの充実や暑さ対策などの取組を推進する。

(3) 地域と協働したみどりの維持管理

- 地域のみどり資源の維持管理における住民参加の仕組みづくりやボランティアの活用、公民連携による運営等、地域の実情に合ったみどりの管理を推進する。

方針④ 持続可能な都市インフラでまちを支える

取組7 大規模ターミナルとしての防災性を高める

(1) 安全な退避経路および帰宅困難者の安全確保

- 駅上空のデッキ整備による一時待機場所等への退避経路の新設に加え、既存の退避経路である地下通路の安全性を向上させる。

(2) BCP(事業継続計画)強化への取組

- 非常用発電機やコージェネレーションシステム等の自立性の高いエネルギーシステムの導入の促進による災害時のエネルギー確保等、防災対応力を強化する。

取組8 環境に優しいまちづくりに取組む

(1) 地区全体の総合的エネルギー効率向上の取組

- 都市開発事業等において、地域冷暖房施設への接続など、平常時のエネルギー利用の高効率化に取組む。

(2) ゼロカーボンの実現に向けた取組

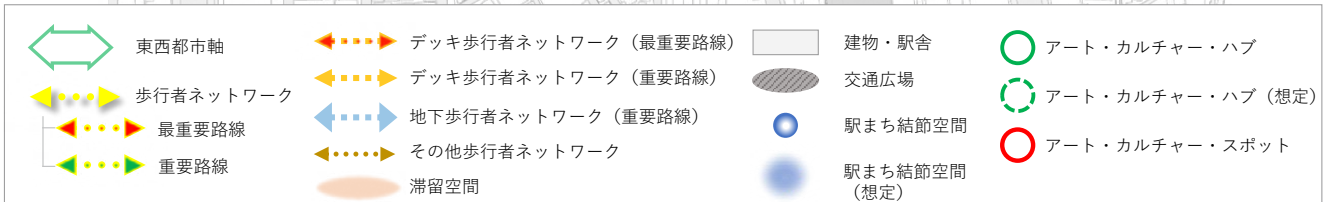
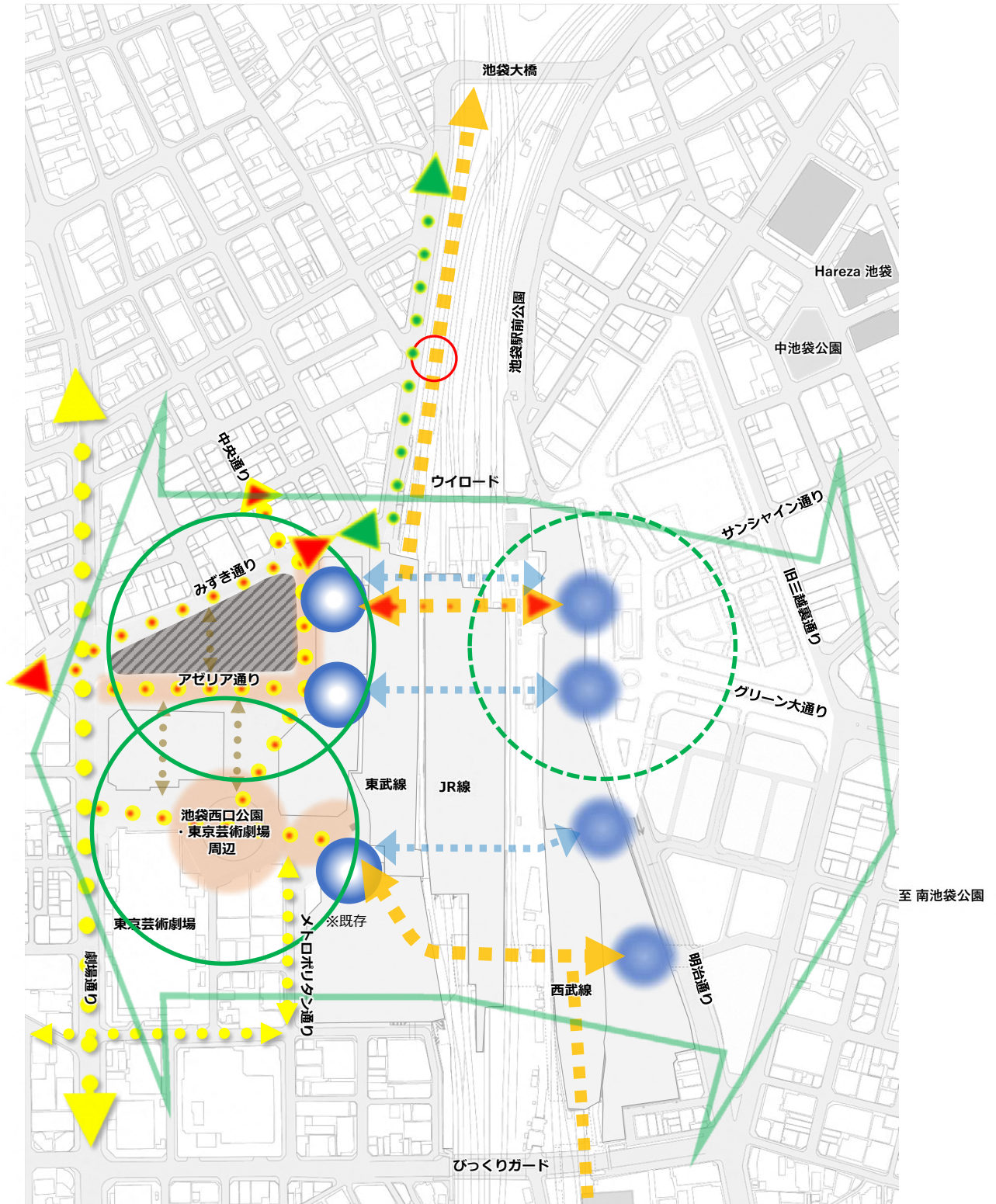
- 2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするゼロカーボンの実現に向けて、再生可能エネルギー由来の電力使用や低炭素資材の活用などに取組む。

池袋駅コアの整備イメージ

本整備方針では、池袋駅西口地区での再開発の検討状況を踏まえ、主に池袋駅西口エリアを対象に下図のとおり基盤整備方針の深度化を図った。

池袋駅東口エリアについては、環状5の1号線開通後の明治通りのクルドサック化に向けた検討を区が中心となって進め、その進展状況をみながら今後、本整備方針を更新していくこととする。

▼ 統合図（デッキ・地上・地下・駐車場階）



※東口については、現時点の想定であり、今後開発の機会をとらえて具体的な配置・規模等の検討を進める。



【概要版】池袋駅コア整備方針 2024

令和 6 (2024) 年 2 月

編集・発行

豊島区都市整備部都市計画課

〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1

電 話：03-3981-1111 (代表)

e-mail：A0022603@city.toshima.lg.jp